ご施工者様へのお願い

この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

ステンレス鋼製笠木
アルロード®(KSU型)
取扱説明書

お使いになるお客様へ

このたびは、ダイケンステンレス鋼製笠木アルロード®をご採用いただき、ありがとうございます。

ステンレス鋼製笠木アルロード®は、防水性、意匠性の目的で使用されるものです。

製品を安全にご使用いただくために、この説明書を必ずお読みいただき、お手元に保管くださいますよう、お願い申し上げます。

DAIKEN

施工後の機能を十分に発揮するために・・・・・

笠木本体を加工したり、負荷をかけたりした場合、笠木本体やブラケット(固定金具)が変形したり、はめあわせ部分が外れたりして、笠木本体が飛散したり、防水層を傷めたりすることがありますのでお避けください。

以下の点を、必ずお守りください。

1. 笠木に穴あけ(アンテナ支えの穴など)や切断等の加工をしないでください。

2. 笠木本体を取り外さないでください。
   取り外す必要が生じた場合は、工事請負業者またはメーカーにご連絡ください。

3. 荷重をかけないでください。
   ① 外壁・窓清掃用ゴンドラを、直接笠木本体にかけないでください。
   外壁・窓清掃用ゴンドラの使用については次頁の「清掃用ゴンドラの使用上の注意」を参照してください。
   ② 笠木本体の上に、人が乗らないようにしてください。
   ③ 笠木本体の上に、物を置かないでください。
   ④ アンテナ等の支えをとらないでください。

4. 変形などの異常がみられた時は、直ちに工事請負業者またはメーカーにご連絡ください。

清掃用ゴンドラの使用上の注意

●チェア式ゴンドラで作業する場合（ステンレス笠木を撤去せずに作業する場合）

①外壁、窓の清掃等でチェア式ゴンドラで作業する場合は、ステンレス笠木を図1（参考図）のように台座（木製）等で養生してください。

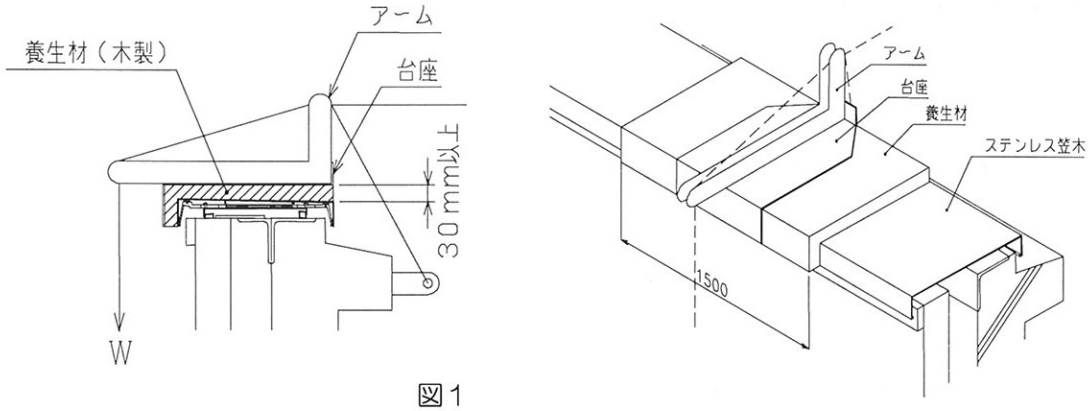

図1

②養生材の設置位置は、必ず笠木ブラケットを図2(参考図)のように2個かかるように設置してください。(尚、笠木ブラケットは最大で946．6㎜ピッチで施工されます)

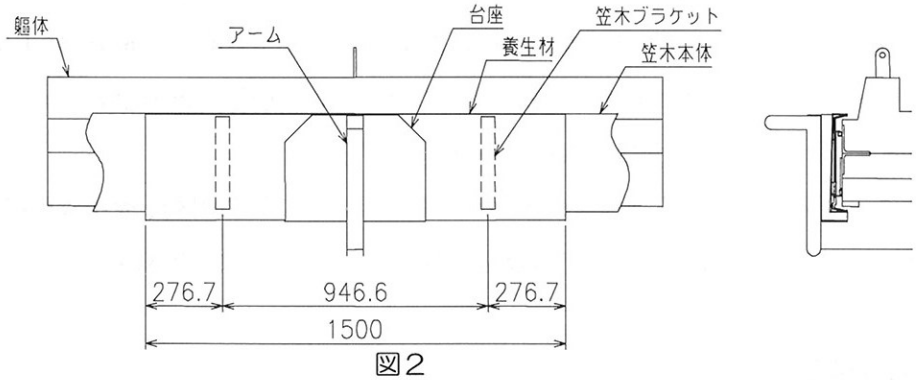

図2

③ステンレス笠木ブラケットの取付ピッチは、割付図面、施工要領書等で確認してください。尚、上記にて笠木ブラケット位置を確認できない場合は、屋上側よりブラケット位置を手で確認することもできますが確認する場合はケガに注意して行なってください。

④圧縮強度の低い外壁材に使用されている場合は、あらかじめステンレス笠木を撤去して作業を行なってください。

●デッキ式ゴンドラ（2～3人乗り）で作業する場合

デッキ式ゴンドラ（2～3人乗り）で作業する場合は、作業部分の笠木を一時撤去して作業を行なってください。

⚠ 注　意

落下、脱落による事故の恐れがありますので下記の点を必ずお守りください。

①ゴンドラ、ロープなどを直接笠木本体にかけないでください。

②笠木本体の上に、人が乗らないようにしてください。

③笠木本体の上に、物を置かないでください。

④笠木本体を取り外さないでください。取り外す必要が生じた場合は、工事請負業者またはメーカーにご連絡ください。

美観を保つために……

いつまでも笠木を美しく保つために、以下の点をお守りください。

1. 笠木表面に、色を塗ったり、表面を削ったりすることはおやめください。
2. 以下の要領で、お手入れをお願いします。

ステンレスは耐食性に優れておりますが、絶対にさびない金属ではないため、美しさを保つために適切なお手入れを行ってください。

① お手入れの回数

目安となる回数は、次の通りです。

工業地帯　年 3～4回(重工業による大気汚染のある地域)
海岸地帯　年 3～4回(海塩粒子の飛来する地域) ※台風後はその都度
市 街 地　年 2～3回(車の排気ガスによる大気汚染がある住居、商業、軽工業地帯)
田園地帯　年 1～2回(海塩粒子の飛来のない、大気汚染のない地域)

積雪地帯では、雪解け時にもお手入れをお願いします。

鉄道や鉄工所の近傍で鉄粉の飛来の多い地区(もらいさびのある地区)、火山灰の降ることのある地域、温泉地などでは、お手入れの回数をさらに増やしてください。

② お手入れの方法

かるい汚れの場合

定期的に水拭きしたあと、乾拭きしてください。

落ちにくい汚れの場合

柔らかい布やスポンジに中性洗剤をつけて拭き取ります。きれいに取れない場合は市販のステンレス専用清掃液か有機溶剤(アセトン、ベンジン、アルコールなど)を使用してください。

中性洗剤や清掃液を使用した場合は薬剤が残らないように念入りに水拭きをしてください。

⚠ 安 全 上 の ご 注 意

屋上、庇、勾配屋根など、危険な場所でのお手入れは、安全の確保に特にご注意ください。専門業者への委託をおすすめします。

安全を確保できない作業は、転落事故や落下物による事故の原因になります。

●改良のため予告なく商品の仕様を一部変更する場合があります。

株式会社 ダイケン
ホームページアドレス http://www.daiken.ne.jp
本社 〒532－0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号
電話(06)6392-5321(代表)

札 幌 支 店 (011)232－3017(代)　神奈川営業所 (045)316－3901(代)
東 京 支 店 (03)3633－6551(代)　静 岡 営 業 所 (054)237－5375(代)
大 阪 支 店 (06)6392－5556(代)　名古屋営業所 (0586)77－7561(代)
盛 岡 営 業 所 (019)648－2220(代)　岡 山 営 業 所 (086)297－9100(代)
仙 台 営 業 所 (022)235－4380(代)　福 岡 営 業 所 (092)935－9731(代)
埼 玉 営 業 所 (048)667－9381(代)　東京西出張所 (042)567－1338(代)
千 葉 営 業 所 (043)489－1481(代)　広 島 出 張 所 (082)294－9181(代)